

電子署名とタイムスタンプの確認方法

電子署名とタイムスタンプの確認方法

Adobe Acrobat Readerで締結済み書類を開き、右上「署名パネル」をクリックすると、画面左側に「電子署名パネル」が表示されます

ここから付与されている電子署名とタイムスタンプの詳細を確認できます

赤枠部分が電子署名、黄色枠部分がタイムスタンプです

※書類の入力項目の設定数・受信者の数などによって付与される電子署名の数も異なるため、書類ごとにバージョンの数も異なります
今回は送信者→受信者A→受信者Bの順で書類を確認したケースです

署名済みであり、すべての署名が有効です。 署名パネル

署名

すべてを検証

- > バージョン 1: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- > バージョン 2: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- > バージョン 3: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- > バージョン 4: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- > バージョン 5: Bengo4.com, Inc. により署名済み
- > バージョン 6: SEIKO Timestamp Service. Accredited A2W03-007 により署名済み

秘密保持契約書

各当事者は、甲乙間において取引を行う又は取引を検討する目的（以下、「本件目的」という。）として、甲又は乙が相手方に開示する秘密情報の取扱いについて、以下のとおりの秘密保持契約（以下「本契約」という。）を締結する。

甲	住所 : 会社名 / 氏名 :
乙	住所 : 会社名 / 氏名 : <small>※法人の場合、会社名に加え、代表取締役等の肩書、氏名を記入して下さい。</small>
契約締結日	
契約期間	
契約更新	本契約の期間満了前の以下に定める日までにいずれの当事者からも解約の申し出がない場合には、同一条件でさらに以下に定める期間を延長し、以後も同様とする。 解約申出日 : 延長期間 :
管轄裁判所	裁判所

<https://help.cloudsign.jp/ja/articles/2684919>

電子署名とタイムスタンプの確認方法（送信者の電子署名を確認）

書類を「誰が（メールアドレス）」「いつ（日時）」送信を行ったのか、また、同意締結にあたっての認証方法を「署名の詳細」>「理由」にて確認することができます

署名済みであり、すべての署名が有効です。
署名パネル

署名

すべてを検証

バージョン 1: Bengo4.com, Inc. により署名済み

バージョン 2: Bengo4.com, Inc. により署名済み

署名は有効です:

信頼ソース取得元: Adobe Approved Trust List (AATL)

文書は、この署名が適用されてから変更されていません

署名者の ID は有効です

署名時刻は署名者のコンピューターの時計に基づいています。

署名は LTV 対応です

署名の詳細

理由: 田中 太郎()によって2021-03-09 13:02:19.030571563 +0900 JSTに作成さ:

証明書の詳細...

最終チェック日時: 2021.03.09 13:06:48 +09'00'

フィールド: PDFL2 (不可視署名)

[このバージョンを表示](#)

バージョン 3: Bengo4.com, Inc. により署名済み

バージョン 4: Bengo4.com, Inc. により署名済み

バージョン 5: Bengo4.com, Inc. により署名済み

バージョン 6: SEIKO Timestamp Service. Accredited A2W03-007 により署名済み

秘密保持契約書

各当事者は、甲乙間において取引を行う又は取引を検討する目的（以下、「本件目的」という。）として、甲又は乙が相手方に開示する秘密情報の取扱いについて、以下のとおりの秘密保持契約（以下「本契約」という。）を締結する。

甲		住所	:	
		会社名 / 氏名	:	
乙		住所	:	
		会社名 / 氏名	:	
		※法人の場合、会社名に加え、代表取締役等の肩書、氏名を記入して下さい。		
契約締結日				
契約期間				
契約更新	<p>本契約の期間満了前の以下に定める日までにいずれの当事者からも解約の申し出がない場合には、同一条件でさらに以下に定める期間を延長し、以後も同様とする。</p> <p>解約申出日:</p> <p>延長期間:</p>			
管轄裁判所	裁判所			

電子署名とタイムスタンプの確認方法（受信者の電子署名を確認）

書類に対し「誰が（メールアドレス）」「いつ（日時）」同意締結を行なったのか、また同意締結にあたっての認証方法を「署名の詳細」>「理由」にて確認することができます

※不可視署名のため、右側に表示される書類上では確認ができず、電子署名パネルからのみ確認可能です

※今回の場合、受信者Aの電子署名がバージョン3、受信者Bの電子署名がバージョン4に表示されます

署名済みであり、すべての署名が有効です。
署名パネル

署名

🔍 すべてを検証

> バージョン 1 : Bengo4.com, Inc. により署名済み

> バージョン 2 : Bengo4.com, Inc. により署名済み

▼ バージョン 3 : Bengo4.com, Inc. により署名済み

署名は有効です：

信頼ソース取得元：Adobe Approved Trust List (AATL)

文書は、この署名が適用されてから変更されていません

署名者の ID は有効です

署名時刻は署名者のコンピューターの時計に基づいています。

署名は LTV 対応です

▼ 署名の詳細

理由：鈴木 花子()によって2021-03-09 13:03:35.248685995 +0900 JSTに承認さ

証明書の詳細...

最終チェック日時：2021.03.09 13:06:48 +09'00'

フィールド：PDFL3 (不可視署名)

[このバージョンを表示](#)

▼ バージョン 4 : Bengo4.com, Inc. により署名済み

署名は有効です：

信頼ソース取得元：Adobe Approved Trust List (AATL)

文書は、この署名が適用されてから変更されていません

署名者の ID は有効です

署名時刻は署名者のコンピューターの時計に基づいています。

署名は LTV 対応です

▼ 署名の詳細

理由：田中 春子()によって2021-03-09 13:04:23.313072505 +0900 JSTに承認さ

証明書の詳細...

最終チェック日時：2021.03.09 13:06:48 +09'00'

フィールド：PDFL4 (不可視署名)

[このバージョンを表示](#)

> バージョン 5 : Bengo4.com, Inc. により署名済み

> バージョン 6 : SEIKO Timestamp Service. Accredited A2W03-007 により署名済み

秘密保持契約書

各当事者は、甲乙間において取引を行う又は取引を検討する目的（以下、「本件目的」という。）として、甲又は乙が相手方に開示する秘密情報の取扱いについて、以下のとおりの秘密保持契約（以下「本契約」という。）を締結する。

甲		住所	：	
		会社名 / 氏名	：	
乙		住所	：	
		会社名 / 氏名	：	
		※法人の場合、会社名に加え、代表取締役等の肩書、氏名を記入して下さい。		
		契約締結日	：	
		契約期間	：	
		契約更新	：	本契約の期間満了前の以下に定める日までにいずれの当事者からも解約の申し出がない場合には、同一条件でさらに以下に定める期間を延長し、以後も同様とする。
		解約申出日	：	
		延長期間	：	
		管轄裁判所	：	裁判所

<https://help.cloudsign.jp/ja/articles/2684919>

電子署名とタイムスタンプの確認方法（タイムスタンプ付き電子署名を確認）

タイムスタンプ付き電子署名（PAdES-T）が施されたことを確認可能です（最後から2番目のバージョンに固定表示）

※不可視署名のため、右側に表示される書類上では確認ができず、電子署名パネルからのみ確認可能です

The screenshot displays the CloudSign interface with a document titled "秘密保持契約書" (Confidentiality Agreement). The document is signed by "Bengo4.com, Inc." across five versions. A "証明書ビューア" (Certificate Viewer) dialog box is open, showing details for a certificate issued by "Cybertrust iTrust Signature Certification".

証明書ビューア (Certificate Viewer) Details:

- 発行元: Bengo4.com, Inc. CloudSign Div.
- 発行者: Cybertrust iTrust Signature Certification, Cybertrust Japan Co., Ltd.
- 有効期間の開始: 2019/12/05 10:40:24 +09'00'
- 有効期間の終了: 2023/01/05 10:33:00 +09'00'
- 鍵の使用方法: 電子署名、否認防止、コード署名、電子メールの保護

証明書ビューア (Certificate Viewer) Status:

- 選択した証明書パスは有効です。
- パスの検証および失効確認は、保証された (タイムスタンプ) 時刻に行われました: 2021/03/09 13:04:25 +09'00'
- 検証モデル: シェル

Document Content (Visible Text):

取引を検討する目的（以下、「本件目的」という。）として、甲又ついで、以下のとおりの秘密保持契約（以下「本契約」という。）

代表取締役等の肩書、氏名を記入して下さい。

に定める日までにいずれの当事者からも解約の申し出がない場合には、同

期間を延長し、以後も同様とする。

解約申出日:

延長期間:

管轄裁判所: 裁判所

<https://help.cloudsign.jp/ja/articles/2684919>

電子署名とタイムスタンプの確認方法（文書タイムスタンプを確認）

文書タイムスタンプが施されたことを確認可能です（一番最後のバージョンに固定表示）

文書タイムスタンプが施された日時は「署名の詳細」>「証明書の詳細」にて確認できます

※不可視署名のため、右側に表示される書類上では確認ができず、電子署名パネルからのみ確認可能です

The screenshot displays the CloudSign interface for document verification. On the left, a list of document versions is shown, with the latest version (Version 6) selected. The details for this version indicate it is signed by SEIKO Timestamp Service. A yellow box highlights the '署名の詳細' (Signature Details) section, which includes a link to '証明書の詳細...' (Certificate Details...). In the center, a '証明書ビューア' (Certificate Viewer) dialog is open, showing the details of the SEIKO Timestamp Service certificate. The dialog includes fields for the issuer (GlobalSign CA for AATL - SHA384 - G4), validity period (2020/01/08 09:00:00 +09'00' to 2031/04/07 09:00:00 +09'00'), and usage (Electronic Signature, Timestamp). A yellow box highlights the verification information at the bottom of the dialog, stating that the certificate was verified and guaranteed at the timestamp time (2021/03/09 13:04:25 +09'00'). On the right, a '秘密保持契約書' (Confidentiality Agreement) is visible, with a yellow box highlighting the section regarding the purpose of the transaction and the confidentiality agreement.

<https://help.cloudsign.jp/ja/articles/2684919>